

# マッチングアプリを真剣に使っている人に関する調査レポート

調査名: マッチングアプリを真剣に使っている人に関する調査レポート

調査主体: THE SINGLE編集部

調査対象: 真剣な恋活・婚活を目的としてマッチングアプリを使っている人

調査期間: 2026年2月23日～2月28日

調査方法: インターネットリサーチ

調査人数: 300名

調査対象者 性別: 男性／女性

調査対象者 年齢: 20代～50代

調査対象者 地域: 全国 ※本調査は当サイト独自調査です。

---

## Q1. あなたの性別を教えてください。【単一選択】

選択肢	回答数	割合
男性	156名	52.0%
女性	144名	48.0%
合計	<b>300名</b>	<b>100%</b>

真剣な恋活・婚活目的の利用者における性別分布は、男性が52.0%、女性が48.0%とほぼ均等な結果となりました。

一般的なマッチングアプリの利用者は男性比率が高くなりがちですが、本調査では真剣度を条件としたことで女性の割合も高く、双方が積極的に婚活・恋活に取り組んでいる実態が浮かび上がりました。

---

**Q2. 現在の年齢を教えてください。【単一選択】**

選択肢	回答数	割合
18～24歳	36名	12.0%
25～29歳	81名	27.0%
30～34歳	90名	30.0%
35～39歳	57名	19.0%
40歳以上	36名	12.0%
合計	<b>300名</b>	<b>100%</b>

最も多い年齢層は30～34歳で30.0%、次いで25～29歳が27.0%と、20代後半から30代前半が全体の57.0%を占めました。

この層は結婚適齢期と重なるため、真剣な婚活・恋活へのモチベーションが高い傾向にあります。一方、35歳以上も合計31.0%に達しており、幅広い年代がマッチングアプリを真剣な出会いの手段として活用していることがわかりました。

---

**Q3. マッチングアプリを使う一番の目的を教えてください。【単一選択】**

選択肢	回答数	割合
すぐにでも結婚したい	81名	27.0%
将来を見据えて真剣に交際したい	138名	46.0%
まずは恋人を作りたい	81名	27.0%
合計	<b>300名</b>	<b>100%</b>

「将来を見据えて真剣に交際したい」が最多の46.0%を占め、「すぐにでも結婚したい」の27.0%と合わせると、全体の73.0%が結婚を意識した利用目的を持っていることがわかりました。

「まずは恋人を作りたい」も27.0%と一定数おり、恋活から婚活への移行を視野に入れた層も存在します。真剣な出会いを求めるユーザーが回答者全体を占める結果となり、本調査対象の性質が数値にも明確に表れています。

---

**Q4. 現在・過去に使ったことがあるアプリを教えてください。【複数選択・最大3つまで／延べ回答数:728件】**

選択肢	回答数	割合(回答者300名に対する比率)
Pairs(ペアーズ)	162名	54.0%
with(ウィズ)	108名	36.0%

Omiai(オミアイ)	96名	32.0%
バチェラーデート	72名	24.0%
ブライダルネット	60名	20.0%
marrish(マリッシュ)	54名	18.0%
youbride(ユーブライド)	51名	17.0%
Couplink(カップリンク)	45名	15.0%
ゴージャス	42名	14.0%
Goens(ゴエンズ)	18名	6.0%
その他	20名	6.7%
合計(延べ)	<b>728件</b>	—

利用経験があるアプリとして最も多く挙げられたのはPairs(ペアーズ)で、回答者の54.0%が利用経験ありと回答しました。

続いてwith(ウィズ)が36.0%、Omiai(オミアイ)が32.0%と、国内大手3アプリへの集中が顕著です。審査制のバチェラーデートやゴージャスも一定の利用実績があり、ハイクラス志向の利用者層が一定数いることも確認されました。

Goens(ゴエンズ)は50代以上限定という条件から利用率は6.0%にとどまりました。

---

**Q5. 本気度・真剣度が最も高いと感じたアプリはどれですか？【単一選択】**

選択肢	回答数	割合
Pairs(ペアーズ)	108名	36.0%
with(ウィズ)	51名	17.0%
バチェラーデート	36名	12.0%
Omiai(オミアイ)	33名	11.0%
ブライダルネット	27名	9.0%
marrish(マリッシュ)	15名	5.0%
youbride(ユーブライド)	12名	4.0%
Couplink(カップリンク)	6名	2.0%
ゴージャス	9名	3.0%
Goens(ゴエンズ)	3名	1.0%
その他	0名	0.0%

合計	300名	100%
----	------	------

本気度・真剣度が最も高いアプリとしてPairs(ペアーズ)が36.0%と最多の支持を集めました。

会員数の多さと厳格な本人確認体制が、真剣な利用者層の形成につながっていると考えられます。

with(ウィズ)が17.0%、バチエラデートが12.0%と続き、審査制や内面重視の仕組みを持つアプリへの評価が高い傾向が見受けられました。

ブライダルネットは男女同額課金という特性から、真剣度の証明として機能していることがうかがえます。

**Q6. 相手の本気度を見極めるために重視した点を教えてください。【複数選択・最大3つまで／延べ回答数:726件】**

選択肢	回答数	割合(回答者300名に対する比率)
プロフィールの記載が詳細かどうか	183名	61.0%
メッセージの返信頻度・内容の誠実さ	171名	57.0%
結婚や将来の話を自然にできるかどうか	153名	51.0%
年収証明書や独身証明書の提出の有無	138名	46.0%

早期に会う約束をしたがるかどうか	81名	27.0%
合計(延べ)	726件	—

相手の本気度を見極める際に最も重視されたのは「プロフィールの記載が詳細かどうか」で61.0%に達しました。

次いで「メッセージの返信頻度・内容の誠実さ」が57.0%、「結婚や将来の話を自然にできるかどうか」が51.0%と続き、日常的なやり取りの中で相手の真剣度を判断するユーザーが多いことがわかりました。

「年収証明書や独身証明書の提出の有無」も46.0%と高く、書類による信頼性の担保を重視する傾向も見受けられます。一方、「早期に会う約束をしたがるかどうか」は27.0%にとどまり、要注意行動の一つとして認識されている様子もうかがえます。

---

#### Q7. アプリで真剣な出会いはできましたか？【単一選択】

選択肢	回答数	割合
できた(現在交際中・結婚した)	87名	29.0%
できた(交際には至らなかったが真剣な出会いがあった)	93名	31.0%
まだ出会えていないが継続中	81名	27.0%
真剣な出会いは難しいと感じてやめた	39名	13.0%

合計	300名	100%
----	------	------

「できた(現在交際中・結婚した)」が29.0%、「交際には至らなかったが真剣な出会いがあった」が31.0%で、何らかの形で真剣な出会いを経験した人は合計60.0%に達しました。

「まだ出会えていないが継続中」も27.0%おり、前向きに活動を続けている層も一定数存在します。

「真剣な出会いは難しいと感じてやめた」は13.0%にとどまり、適切なアプリ選びと継続的な活動が成果につながることを示唆される結果となりました。